



### 思いを重ね未来へつなぐ

①\_5月6日に源義経公東下り行列の後片付けをする源義経公東下り保存会の会員たち/②\_馬具に付いた馬のふんなどの汚れは水を使って丁寧に洗って落とす/③\_洗い終わった道具を倉庫につるして干す/④\_北の方と秀衡公を乗せた御所車を倉庫に入れる。御所車は大人数人でも動かすのが大変で、天井にぶつかりそうになるほど大きい/⑤\_後片付け中は会員同士で楽しく会話をし、時折笑顔がこぼれる/⑥\_馬具などの道具については東下り保存会で所有している貴重なもの。そのため数を確認しながら丁寧に倉庫にしまう



## 魅力

### 源義経公東下り行列

行事は出演者やスタッフだけでなく、大勢の観客がいて成り立つ。そしてさまざまな人の感想を聞くことで本当の魅力が見えてくる。

今年の行列を見に来た5人の人たちに話を聞いた。



Interview  
まつおか 松岡かずなさん  
(一関市・22歳)

#### 北の方がとてもきれいだった

横浜流星さんのファンなので見に来ました。流星さんはもちろん格好良かったです。北の方役の人も髪型が似合っていて、とてもきれいでした。

東下り行列を見るのは初めてです。これまでも見たいと思っていたのですが、毎年仕事で来られませんでした。今年はたまたま休みだったので、念願の行列を見ることができてとてもうれしかったです。



Interview  
いしだ 石田夢華さん  
(花巻市・16歳)

#### 間近で見れてうれしかった

以前から横浜流星さんが大好きで、今日は命懸けの思いで平泉に来ました。流星さんが義経公役になったと教えられた時は、とてもうれしくて泣きそうになりました。間近で見ることができ「大好き」「頑張ってる」と声を掛けることもできました。これからは嫌なことであっても、今日のことを思い出せば元気に過ごしていけそうです。東下り行列を見に来て良かったです。

### 町内一の華やかな行事

東下り行列は町内一の華やかな行事なので、毎年見物しています。人が各地からたくさん集まり、にぎやかで楽しい雰囲気を感じられるのが魅力だと思います。今年は高校1年生の孫が、友達と一緒に侍女役で出演しているので、なおさら楽しみにしていました。孫は少し恥ずかしそうにいましたが、きれいな衣装を着ている姿を見て、とてもうれしく思いました。



Interview  
ふじむらお 富士村男さん  
(平泉町・84歳)

#### 来年も行列を見に来たい

同僚に誘われて見に来ました。義経公役の横浜流星さんは、顔が小さくてオーラがすごかったです。一発でファンになりました。これからもぜひ応援していきたいです。

東下り行列は、平泉で働いていた時に職場の前を通るのを見たことがありましたが、じっくり見るのは今回が初めてでした。仕事の都合がつけば、来年も見に来たいですね。



Interview  
たかはし しおん 高橋詩音さん  
(奥州市・25歳)

#### 声を掛けたら手を振ってくれた

横浜流星さんの大ファンです。流星さんが義経公役になるとツイッターで見た瞬間、うれしくて叫びました。今日は毛越寺から中尊寺金色堂まで、行列を追い掛けながら見物しました。思っていたよりも近くで流星さんを見ることができてとてもうれしかったです。声を掛けたら手を振ってくれたので感激しました。行列を見るのは初めてですが、来年以降もぜひ見に来たいです。



Interview  
よしだ 吉田寧々さん  
(奥州市・17歳)

## 最終章

# 熱望

また来年も

当たり前のように毎年行われ、大勢の観客に開催を熱望される源義経公東下り行列。そこには「平泉らしい行事を開催したい」「町内を盛り上げたい」「観客に喜んでもらいたい」という先人たちの熱い魂が受け継がれている。しかし近年、行列を取り仕切る東下り保存会会員の高齢化や後継者不足、出演者の確保など行列を取り巻く環境は厳しさを増している。

今後も継続して開催していくために必要なこととは一。



源義経公東下り保存会の会員たち

終わり

【特集】受け継がれる魂—源義経公東下り行列—

56回目を数える源義経公東下り行列を継続していくためには、出演する人、支える人、楽しむ人が増えていき、それらがつながることが大切だ。そこで生まれる交流は熱い思いや誇りとなり、続けていくための原動力となる。行列に誇りを持ち、一生懸命に取り組んでいる人たちがいる。その現状を知ることが、行列を今後も続けていくための最初の一步となるはずだ。

#### 行列を続ける原動力

の開催に向けて準備を進める会員たちの姿があった。

若い世代の力が必要

源義経公東下り行列は、1955年に始まり、当初こそ不定期開催だったが、68年以降は恒例行事として毎年繰り広げられるようになった。行列当日は、平泉町の人口約8千人を大幅に上回る約20万人近くが町を訪れる。順調に開催されているように見える行事だが、そこにはさまざまな課題もある。その一つが後継者問題だ。行列を取り仕切っている源義経公東下り保存会の会員は39人おり、その平均年齢は60歳を超える。会長の庄悦さんは「行事を継続する上で人員は必要。現在でも人が足りていない状態で会員も高齢化している。今のままでは今後行事を継続していくのが厳しくなっていくかもしれない。保存会に若い世代の人たちも入ってもらい、自分たちが受け継いできたものを若い世代にも引き継いでもらいたい」と話す。今年の行列が終わった後には、先人たちが大切に育ててきた伝統ある行事を絶やさないため、丁寧に片づけを行い、来年